十二月五雲会

十二月十九日（土）
午後十二時始

演目の解説

12:00

小鍛冶

シテ 佐野 玄宜

ワキ 福王 和幸

ワキツレ 矢野 昌平
間 大藏彌太郎

後見 宝生 和英
山内 崇生
金森 隆晋

大鼓 亀井 洋佑
小鼓 清水 和音
太鼓 大川 典良
笛 杉 信太朗

地謡 辰巳 大二郎
渡邊 茂人
小倉 健太郎
小林 晋也
金井 賢郎

能「小鍛冶」（こかじ）

帝の霊夢によって剣を打つ事を命ぜられた三条小鍛冶宗近は、自分に比肩する程の相槌が居ない事に困り、氏神である稲荷明神に詣でます。そこに現れた童子は、帝に勅諚があった旨を宗近に知らせており、名剣の謂われを語って宗近を励ます。剣の打つ台を用意して待て、必ず助力のすべを約束する。と稲荷明神が告げて狐が現れ、協力して剣を打つ。

13:00

茶壷

善竹大二郎

大藏 教義
榎本 元

狂言「茶壷」（ちゃつぼ）

中国地方の者が茶を仕入れて国へ帰る途中、酒に酔って道に寝込んでいます。そこへ目をつけた素破（すっぱ＝詐欺師）は、寝ているすきに茶壷を盗もうとします。しかし、所の目代が仲裁にはいりますが、なかなか失敗、やがて口論となり、破壷を割ってしまいます。困り果てた目代は…。

13:40

六浦

シテ 大友 順

ワキ 御厨 誠吾

ワキツレ 大日方 寛
〃 小林 克都
間 大藏吉次郎

後見 金井 雄資
佐野 弘宜

大鼓 原岡 一之
小鼓 森 貴史
太鼓 梶谷 英樹
笛 藤田 貴寛

地謡 内藤 飛能
佐野 登
武田 孝
水上 甫
田崎 優史

能「六浦」（むつら）

都の僧が東国行脚の途中、六浦の寺に立ち寄りました。中称名寺の木々を見て、折しも紅葉の盛りです。昔、女が現れ、その訳を語りました。冷泉為相卿という方がこの紅葉を見つけ、中に一本だけ紅葉した木を見て、都に思いを馳せます。泉涼寺の紅葉は無かろうと感心した一人の女は、実は紅葉の精で、夜になり月光の中で、舞を舞います。

〈休憩十五分〉

15:15

土蜘

シテ 野月 聡 トモ 辰巳 和磨
小蝶 金野 泰大
頼光 當山 淳司

ワキ 村瀬 提 ワキツレ 矢野 昌平

ワキツレ 村瀬 慧
間 大藏 基誠

大鼓 大倉栄太郎
小鼓 曽和伊喜夫
太鼓 林 雄一郎
笛 熊本俊太郎

地謡 川澤 隆士
瀬田 宏司
和久荘 太郎
藪 克徳
朝倉 大輔

後見 小倉 伸二郎
東川 尚史
金森 良充
今井 基

能「土蜘」（つちぐも）

病床にある源頼光を見舞うため持ってきた典薬の頭よりの遣わされ薬を飲まなくてはいけないと、弱くなった胡蝶がやっとの思いで来ました。蜘蛛の糸を投げかけて、切り付けると僧は頼光を励ます。気が病む蝶が去ると、不気味な僧形の男が刀を抜いて迫って来ます。騒ぎを聞きつけて参上したものは家来が、血の跡を辿って怪しいと退治しようと約束し、葛城山の奥深くに分け入って行き、蜘蛛の糸を吐く怪異のものと対決します。

〈休憩十五分〉

終演予定十六時五分頃

チケット料金

一般　5,000円
学生　2,500円
（当日学生証提示）

ご購入は
オンラインチケット
または
宝生会事務局まで